

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境 NET

会 報

第 10 号(2015 年 6 月)

目 次 (contents)

2014年度(平成26年度)事業報告書

I 事業期間

2014年(平成26年)4月1日～2015年(平成27年)3月31日

II 事業の成果

水・土壤汚染対策研究会および日本建築学会近畿支部のセミナーに参画すると共に、年2回の出前授業を実施した。

中学生および高校生に地下水・地表水の挙動に対する知識を普及すると共に、一般市民に対しても同じ趣旨のプレゼン・セミナーを行うことにより、科学技術の振興を図る活動を行った。

また、土壤汚染関連の事業活動を推進した。

III 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1)出前授業

【内容】地震と液状化

【実施場所】奈良市立富雄中学校

【実施日時】2014年(平成26年)12月5日(月)

【事業の対象者】生徒23名(1年11名・2年12名)

【収入】0円

【支出】0円

(2)出前授業

【内容】奈良北高校第1学年特別授業 地震発生の仕組みから考える

【実施場所】奈良県立奈良北高校

【実施日時】2015年(平成27年)1月13日(火)

【事業の対象者】奈良北高校第1学年理数科クラス

【収入】0円

【支出】0円

(3)各種情報提供サービスに関する事業

【内容】広報活動(会報、ホームページ)

【実施日時】通年

【事業の対象者】会員、一般市民

【収 入】なし
【支 出】30,000円

(4) 研究会参加(おおさかA T C グリーンエコプラザ主催)

【内 容】水・土壤汚染研究部会
【実施場所】おおさかA T C グリーンエコプラザ内ビオトーププラザ
【実施日時】通年
【収 入】なし
【支 出】年会費 12,000円

(5) セミナー事業

【内 容】都市域の地下水コントロールセンター構想
【実施場所】日本建築学会 近畿支部 基礎構造部会
【実施日時】2014年(平成 26年)10月 24日(金)
【収 入】0円
【支 出】0円

(6) コンサルタント事業

【内 容】土壤汚染対策アドバイス
【実施日時】通年
【収 入】345,600円
【支 出】240,000円

IV 社員総会の開催状況

(1) 名 称：平成 26 年度通常総会

日 時：2014年(平成 25年)4月 19日(土) 11:30 ~ 12:20

場 所：大阪駅前第 2ビル大阪市立大学文化交流センター

出席者数：16名 (委任状出席者 8名)

議案内容：第 1 号議案 2013 年度(平成 25 年度)事業報告

平成 25 年度の実施してきた事業活動を報告し、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。

第 2 号議案 2013 年度(平成 25 年度)の財産目録、貸借対照表、収支計算書報告

2013 年度(平成 25 年度)財産目録、貸借対照表、収支計算書報告を示し説明した上で承認された。

第3号議案 2014年度(平成26年度)事業計画

2014年度(平成26年度)の事業計画について報告し、
その内容について承認された。

第4号議案 監事の重任および理事の重任・新任並びに理事長の選出について

任期満了による理事として中川康一、載 忠希、
保居優加子、奥田庸雄、熊井久雄、山本勇、柴山
元彦、三田村宗樹、中島載雄、長谷川俊樹の10名
を重任、監事を吉田光臣を重任、多田和夫の新任
理事就任を諮り承認した。理事長は互選により、
中川康一に決定し、本人の承諾を得た。

第5号議案 議事録署名人の選任の件

議事録署名人について、山本副理事長と中島理事
が議長より指名され、全員の承認を得た。

V 理事会の開催状況

- (1) 名称：理事会
日 時：2014年(平成26年)4月19日(土) 10:00～11:30
場 所：大阪駅前第2ビル大阪市立大学文化交流センター
出席者数：9名(委任状出席者3名含む)
- 議案内容：第1号議案 理事長選定の件
定款第14条の規定に基づき、理事長として中川康一を選定し、被選定者は就任を承諾した。
- 第2号議案 ジオ・カーニバルの参加について
今年度のジオ・カーニバル参加の案を全員に諮り、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。
- 第3号議案 出前講座の開催について
出前講座についての内容説明があり、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。
- 第4号議案 住吉大社活動について
住吉大社のホタル案件について、現状と今後の事業活動の説明があり、計画案は承認・可決された。
- 第5号議案 浅層地下水検討会について
浅層地下水利用の具体化について説明があり、全員異議なくこれを承認し、本案は可決された。
- 第6号議案 理事の増員について
多田和夫会員の理事推薦について、全員の承認が得られた。
- 第7号議案 事務費用について
事務処理担当者の費用定額化について、全員の承認が得られた。
- 第8号議案 議事録署名人の選任の件について
議事録署名人について、中川理事長と山本副理事長が議長より指名され、全員の承認を得た。
- (II) 名称：理事会
日 時：2014年(平成26年)8月31日(土) 10:00～12:45
場 所：大阪駅グランフロント ナレッジキャピタル 8階
出席者数：8名(委任状出席者2名含む)
- 議案内容：第1号議案 クラウドファンディングの利用と今後の活動
本事項は将来に繋げる事業として捉え、今後の体

制等を検討することを承諾した。

第 1 号議案補則 プロジェクト等の緊急時の意思決定方法の検討

意思決定が緊急に必要なプロジェクトは、発案者が全責任を持つ事を前提とし、理事がメールによって発議し、メールによる議論結果の採用を考慮する。

第 2 号議案 外部資金利用の事業契約に必要な書類の整備

契約に必要な書類を整備する。

第 3 号議案 個人会費と入会金の減額と減額規模の検討

個人会員が入り易い金額設定するために、個人会費を 3 千円、入会金を 0 円に変更する。

第 4 号議案 今後の NPO の活動

個人会員や賛助会員を増やすため、色々な企画を企画する。

出前授業：奈良市立富雄中学校理科授業 地震と液状化

日 時： 平成 26 年 12 月 5 日(金) 午後 3 時 30 分～4 時 30 分。

場 所： 奈良市立富雄中学校

講 師： 中川康一 大阪市大名誉教授

受 講 者： 生徒 23 名(1 年 11 名・2 年 12 名)

教職員 4 名

コーディネーター 4 名

学習ボランティア 1 名

実験装置： リクイファくん(液状化実験装置)

真空ポンプを用いた砂の強度増加実験装置

【授業内容】

授業は、講義が約 30 分、実験が約 20 分です。

講義はパワーポイントと断層模型を用い、以下のように行いました。

- ① 地震には、身体で感じるものと、地震計などの機械で感じるものの 2 種類がある。
- ② アスペリティについて、断層模型を使い、大きな地震動を発生させるポイントがあることを説明しました。
- ③ 碓・砂・粘土を示し、地下の堆積物を構成するものについて説明しました。
- ④ 液状化が発生し易い沖積層と地下水位について説明し、地下水位をコントロールすることの大切さを話しました。

実験はリクイファくん(液状化実験装置)を用い、以下のように行いました。

- ① 生徒を 11 名と 12 名の 2 班に分け、全員参加で行いました。
- ② 液状化実験は 5 回以上行い、様々なパターンが経験できました。
- ③ 液状化が発生すると、「ワーッ」という歓声が上がりました。
- ④ 生徒に砂で地形を造らせると、山やくぼ地を造りました。液状化が発生すると山が崩れ、くぼ地に水が発生し、その様子を不思議そうに見ていました。

【生徒の状況】

講義は、やはり中学生ですので、ちょっと難しかったようです。

実験は液状化発生時に歓声があがるなど、大変好評でした。

実験後には、「面白かった」、「楽しかった」等の感想が多く聞かれました。

出前授業：奈良北高校第1学年特別授業 地震発生の仕組みから考える

日 時： 平成27年1月13日(火)
第2时限・第4时限・第6时限(各45分)の3回
場 所： 奈良県立奈良北高校 理科実験室
講 師： 中川 康一 補助：中島 祐子
実験装置： リクイファくん(液状化実験装置)
真空ポンプを用いた砂の強度増加実験装置

【授業内容】

授業は東日本大震災時の動画(約3分)の観聴後、地震のメカニズムと特徴等について、パワーポイントを使用しながら解説を行いました。最初に地震の揺れや津波のインパクトのある映像を見せたことにより、生徒達は授業に興味を持ってくれたようで、授業中には熱心にメモを取る生徒も多数見られました。

今年度は、適正な地下水位にコントロールすれば、液状化被害を低減できることも解説しました。また、当NPOは、地下水(特に地下浅部の不圧水)の有効利用と液状化防止のための活動をしていることも説明しました。

リクイファくんを用いた液状化実験は2~3回行いました。1回目はあらかじめ作っておいたジオラマで液状化を見せ、2回目以降は生徒達に自由にジオラマを造ってもらい、液状化を発生させて状況を観察させました。奈良北高校の生徒達は丘陵に囲まれた環境にあるせいか、実験を行った3クラスとも小高い丘を作り、液状化で水が噴出して丘が平坦になる状況を観察していました。

実験後は、中川理事長に、「実際の地震でもモデルのように山が液状化によって崩れてしまうのか」という質問をする生徒がいました。

【新聞取材を受けました】

第6时限は奈良新聞社の記者が取材に訪れ、授業後に中川理事長や生徒達に10分ほどインタビューしていました。奈良新聞の翌日(14日)朝刊の第2社会面に、写真入りで掲載されました。

セミナー事業：日本建築学会 近畿支部 基礎構造部会
都市域の地下水コントロールセンター構想

日 時： 平成 26 年 10 月 24 日(金)
場 所： 日本建築学会 近畿支部 基礎構造部会
講 師： 中川 康一 補助：中島 載雄
実験装置： リクイファくん(液状化実験装置)
 真空ポンプを用いた砂の強度増加実験装置

平成 26 年度「特定非営利活動に係る事業」会計収支計算書

平成26年度「特定非営利活動に係る事業」活動計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境NET

科 目	金 領		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金収入	5,000		
正会員会費収入	120,000		
賛助会員会費収入	115,000		
2 事業収入			
コンサルタント・解析事業収入			
3 雑収入			
受取利息		130	
経常収入合計			585,730
II 経常支出の部			
1 事業費			
通信費	6,710		
事務用品費	540		
消耗品費	0		
会議費	0		
賃貸料	0		
支払手数料	3,024		
租税公課	0		
旅費交通費	3,280		
雑費	38,136		
諸会費	12,000		
外注費	182,168		
支払報酬	90,000		
同支払源泉	10,000	345,858	
2 管理費			
給料手当	53,874		
同支払源泉	6,126	60,000	
経常支出合計			405,858
経常収支差額			179,872
III その他資金収入の部			
その他資金収入の部合計			0
IV その他資金支出の部			
その他資金支出の部合計			0
当期収支差額			179,872
前期繰越収支差額			682,320
次期繰越収支差額			862,192
(正味財産増減の部)			
V 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額		179,872	
2 負債減少額		0	
増加額合計			179,872
VI 正味財産減少の部			
1 資産減少額		0	
2 負債増加		0	
減少額合計			0
当期正味財産増加額			179,872
前期繰越正味財産額			682,320
当期正味財産合計			862,192

会員動向

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

正会員： 13 名

賛助会員：

中央開発 株式会社

株式会社 日開調査設計コンサルタント

株式会社 東京ソイルリサーチ関西支店

株式会社 田岡化学分析センター

株式会社 ルーツ・ワン

株式会社 セウテック

事業実績

事業実績一覧表(件数)

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
土壤汚染の意見書作成等	2	3	1	2		1	2		1
地下水解析			1		1				
地質解析			1						
地下水開発コンサルタント			1						
ビオトープコンサルタント				1	1				
その他					1			1	

お願い

地盤・地下水環境 NET では、趣旨に賛同いただける会員を募集しております。お知り合いの方に、是非お知らせください。

なお、入会方法は、下記にお問い合わせください。

電話 072-235-3555

[地盤・地下水環境 NET \(jck-net.org\)](http://jck-net.org)

特定非営利活動法人 地盤・地下水環境 NET